

1 次の各問に答えよ。

〔問1〕 $-6^2 \times \frac{1}{9} - 4$ を計算せよ。

〔問2〕 $2a + b - \frac{5a + b}{3}$ を計算せよ。

〔問3〕 $(\sqrt{7} - 1)(\sqrt{7} + 6)$ を計算せよ。

〔問4〕 一次方程式 $2x - 8 = -x + 4$ を解け。

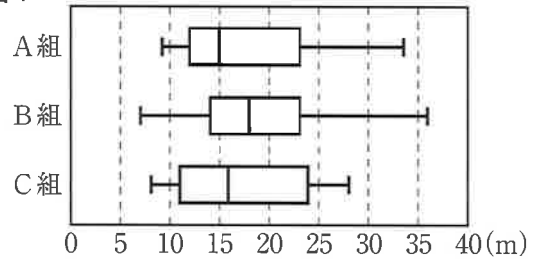
〔問5〕 連立方程式 $\begin{cases} 5x + 7y = 9 \\ 3x + 4y = 6 \end{cases}$ を解け。

〔問6〕 二次方程式 $(x - 8)^2 = 1$ を解け。

〔問7〕 右の図1は、ある中学校第2学年の、A組、B組、C組それぞれ生徒37人のハンドボール投げの記録を箱ひげ図に表したものである。

図1から読み取れることとして正しいものを、次のア～エのうちから選び、記号で答えよ。

図1



- ア A組、B組、C組のいずれの組にも、記録が30mを上回った生徒がいる。
- イ A組、B組、C組の中で、最も遠くまで投げた生徒がいる組はC組である。
- ウ A組、B組、C組のいずれの組にも、記録が15mの生徒はいない。
- エ A組、B組、C組の中で、四分位範囲が最も小さいのはB組である。

〔問8〕 次の□の中の「あ」「い」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

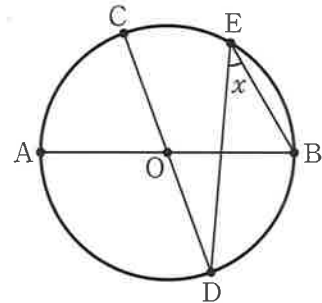
右の図2で、点Oは、線分ABを直径とする円の中心であり、3点C、D、Eは円Oの周上にある点である。

5点A、B、C、D、Eは、右の図2のように、A、D、B、E、Cの順に並んでおり、互いに一致しない。

点Bと点E、点Cと点D、点Dと点Eをそれぞれ結ぶ。

線分CDが円Oの直径、 $\widehat{AC} = \frac{2}{5}\widehat{AB}$ のとき、 x で示した $\angle BED$ の大きさは、□「あ」度である。

図2

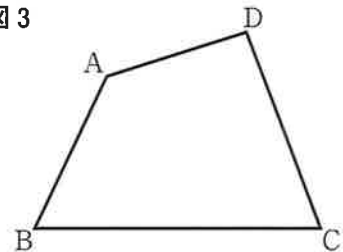


〔問9〕 右の図3で、四角形ABCDは、 $\angle BAD$ が鈍角の四角形である。

解答欄に示した図をもとにして、四角形ABCDの辺上にあり、辺ABと辺ADまでの距離が等しい点Pを、定規とコンパスを用いて作図によって求め、点Pの位置を示す文字Pも書け。

ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。

図3



2

Sさんのクラスでは、先生が示した問題をみんなで考えた。

次の各問に答えよ。

[先生が示した問題]

a, b を正の数とする。

右の図1で、 $\triangle ABC$ は、 $\angle BAC = 90^\circ$ 、
 $AB = a$ cm、 $AC = b$ cm の直角三角形である。

右の図2に示した四角形AEDCは、

図1において、辺BCをBの方向に延ばした直線上にあり $BC = BD$ となる点をDとし、
 $\triangle ABC$ を頂点Bが点Dに一致するように平行移動させたとき、
頂点Aが移動した点をEとし、頂点Aと点E、点Dと点Eをそれぞれ結んでできた台形である。

四角形AEDCの面積は、 $\triangle ABC$ の面積の何倍か求めなさい。

図1

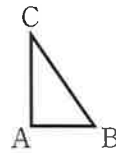
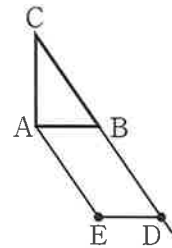


図2



[問1] 次の 中の「う」に当てはまる数字を答えよ。

[先生が示した問題] で、四角形AEDCの面積は、

$\triangle ABC$ の面積の う 倍である。

Sさんのグループは、[先生が示した問題] をもとにして、次の問題を作った。

[Sさんのグループが作った問題]

a, b, x を正の数とする。

右の図3に示した四角形AGHCは、図1において、
辺ABをBの方向に延ばした直線上にある点をFとし、
 $\triangle ABC$ を頂点Aが点Fに一致するように平行移動させたとき、
頂点Bが移動した点をG、頂点Cが移動した点をHとし、
頂点Cと点H、点Gと点Hをそれぞれ結んでできた台形である。

右の図4に示した四角形ABJKは、図1において、
辺ACをCの方向に延ばした直線上にある点をIとし、
 $\triangle ABC$ を頂点Aが点Iに一致するように平行移動させたとき、
頂点Bが移動した点をJ、頂点Cが移動した点をKとし、
頂点Bと点J、点Jと点Kをそれぞれ結んでできた台形である。

図3において、線分AFの長さが辺ABの長さの x 倍となる
ときの四角形AGHCの面積と、図4において、線分AIの
長さが辺ACの長さの x 倍となるときの四角形ABJKの
面積が等しくなることを確かめてみよう。

図3

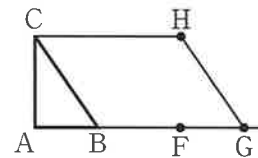
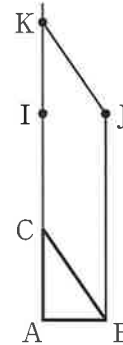


図4



[問2] [Sさんのグループが作った問題] で、四角形AGHCの面積と

四角形ABJKの面積を、それぞれ a, b, x を用いた式で表し、

四角形AGHCの面積と四角形ABJKの面積が等しくなることを証明せよ。

3

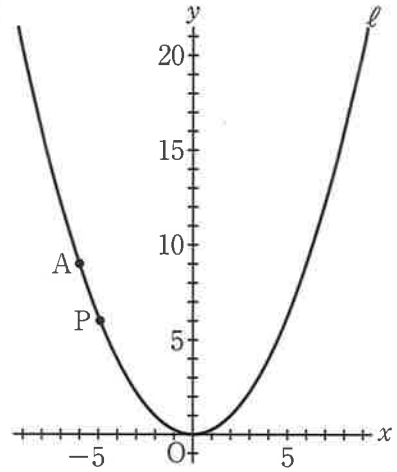
右の図1で、点Oは原点、曲線ℓは関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフを表している。

点Aは曲線ℓ上にあり、 x 座標は -6 である。

曲線ℓ上にある点をPとする。

次の各問に答えよ。

図1



〔問1〕 次の ① と ② に当てはまる数を、下のア〜クのうちからそれぞれ選び、記号で答えよ。

点Pの x 座標を a 、 y 座標を b とする。

a のとり値の範囲が $-3 \leq a \leq 1$ のとき、

b のとり値の範囲は、

$$\text{①} \leq b \leq \text{②}$$

である。

ア $\frac{9}{4}$

イ $-\frac{3}{2}$

ウ $-\frac{3}{4}$

エ 0

オ $\frac{1}{4}$

カ $\frac{1}{2}$

キ $\frac{3}{2}$

ク $\frac{9}{4}$

〔問2〕 次の ③ と ④ に当てはまる数を、下のア〜エのうちからそれぞれ選び、記号で答えよ。

右の図2は、図1において、 x 座標が点Pの x 座標と等しく、 y 座標が点Pの y 座標より4大きい点をQとした場合を表している。

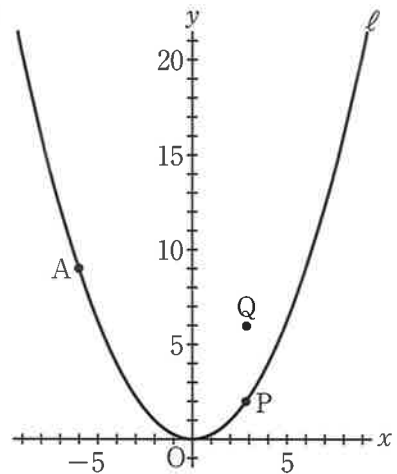
点Pの x 座標が2のとき、

2点A、Qを通る直線の式は、

$$y = \text{③}x + \text{④}$$

である。

図2



③ ア 2

イ $\frac{1}{2}$

ウ $-\frac{1}{2}$

エ -2

④ ア 6

イ 5

ウ 4

エ 1

〔問3〕 図2において、点Pの x 座標が3より大きい数であるとき、点Qを通り傾き $\frac{1}{2}$ の直線を引き、 y 軸との交点をRとし、点Oと点A、点Aと点R、点Pと点Q、点Pと点Rをそれぞれ結んだ場合を考える。

$\triangle AOR$ の面積が $\triangle PQR$ の面積の3倍になるとき、点Pの x 座標を求めよ。

4 右の図1で、四角形ABCDは、

AB < ADの長方形である。

辺BCの中点をMとする。

点Pは、線分CM上にある点で、

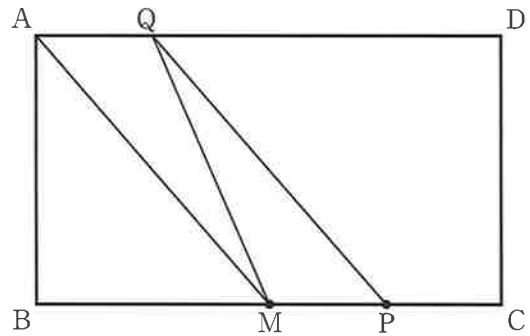
頂点C、点Mのいずれにも一致しない。

頂点Aと点Mを結び、点Pを通り線分AMに
平行な直線を引き、辺ADとの交点をQとする。

点Mと点Qを結ぶ。

次の各問に答えよ。

図1



[問1] 図1において、 $AB = BM$ 、 $\angle AQM = a^\circ$ とするとき、 $\angle MQP$ の大きさを
表す式を、次のア～エのうちから選び、記号で答えよ。

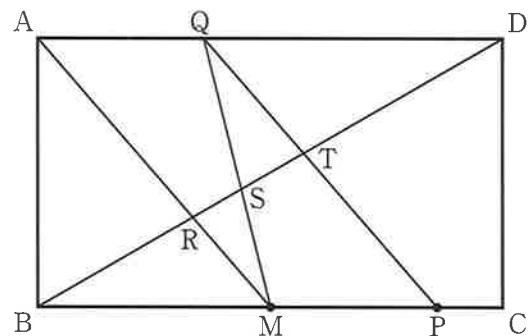
- ア $(180 - a)$ 度 イ $(135 - a)$ 度 ウ $(a - 90)$ 度 エ $(a - 45)$ 度

[問2] 右の図2は、図1において、

頂点Bと頂点Dを結び、線分BDと、
線分AM、線分MQ、線分PQとの
交点をそれぞれR、S、Tとした
場合を表している。

次の①、②に答えよ。

図2



① $\triangle BMR \sim \triangle DQT$ であることを証明せよ。

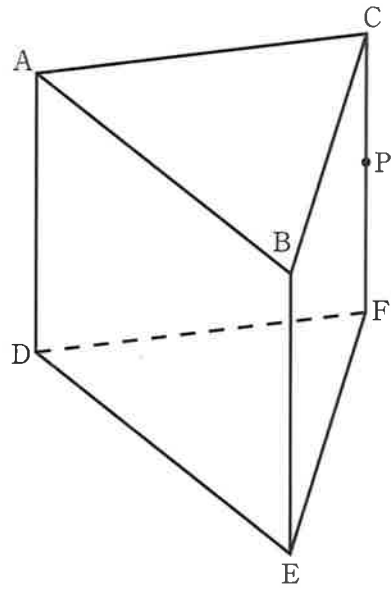
② 次の□の中の「え」「お」「か」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

図2において、 $MP : PC = 3 : 1$ のとき、線分STの長さ
と線分BDの長さの比を最も簡単な整数の比で表すと、 $ST : BD =$ $:$ である。

5 右の図に示した立体 $ABC-DEF$ は,
 $AB=AD=6\text{ cm}$, $AC=BC=5\text{ cm}$,
 $\angle BAD=\angle CAD=90^\circ$ の三角柱である。

辺 CF 上にあり, 頂点 C , 頂点 F のいずれにも
 一致しない点を P とする。

次の各問に答えよ。



〔問1〕 次の 中の「き」「く」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

線分 AB の中点を M とし, 点 M と点 P を結んだ場合を考える。

$\angle BMP$ の大きさは, 度である。

〔問2〕 次の 中の「け」「こ」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

頂点 A と点 P , 頂点 B と点 P , 頂点 D と点 P , 頂点 E と点 P をそれぞれ結んだ
 場合を考える。

立体 $P-ADEB$ の体積は, cm^3 である。

正 答 表

数

学

(6 一次・分割前期)

1	[問 1]	- 8			5 点	
	[問 2]	$\frac{a+2b}{3}$			5 点	
	[問 3]	$1+5\sqrt{7}$			5 点	
	[問 4]	4			5 点	
	[問 5]	$x = 6$	$y = -3$			5 点
	[問 6]	7, 9			5 点	
	[問 7]	エ			5 点	
	[問 8]	あい	あ	3	5 点	
			い	6		
[問 9]					6 点	

2	[問 1]	う	う	3	5 点
	[問 2]	〔証明〕			
<p>四角形AGHCは、上底が ax cm、下底が $(ax+a)$ cm、高さが b cmの台形だから、四角形AGHCの面積は、</p> $\{ax+(ax+a)\} \times b \times \frac{1}{2}$ $= \frac{1}{2}ab(2x+1) \dots\dots\dots (1)$ <p>四角形ABJKは、上底が bx cm、下底が $(bx+b)$ cm、高さが a cmの台形だから、四角形ABJKの面積は、</p> $\{bx+(bx+b)\} \times a \times \frac{1}{2}$ $= \frac{1}{2}ab(2x+1) \dots\dots\dots (2)$ <p>(1)、(2)より、四角形AGHCの面積と四角形ABJKの面積は等しい。</p>					

3	[問 1]	①	エ	5 点
		②	ク	
	[問 2]	③	ウ	5 点
		④	ア	
[問 3]	8			5 点

4	[問 1]	イ			5 点
	[問 2]	①	〔証明〕		7 点
	<p>$\triangle BMR$と$\triangle DQT$において、 $BM \parallel QD$より、平行線の錯角は等しいから、 $\angle MBR = \angle QDT \dots\dots\dots (1)$ 対頂角は等しいから、 $\angle BRM = \angle DRA \dots\dots\dots (2)$ $AM \parallel QP$より、平行線の同位角は等しいから、 $\angle DRA = \angle DTQ \dots\dots\dots (3)$ (2)、(3)より、 $\angle BRM = \angle DTQ \dots\dots\dots (4)$ (1)、(4)より、2組の角がそれぞれ等しいから、</p> <p style="text-align: center;">$\triangle BMR \sim \triangle DQT$</p>				
	[問 2]	②	え : おか	え	5 点
			お	3	
			か	6	

5	[問 1]	きく	き	9	5 点
			く	0	
	[問 2]	けこ	け	4	5 点
			こ	8	

※ **3** [問 1] 全て「正答」で、点を与える。

※ **3** [問 2] 全て「正答」で、点を与える。